

(様式5)

調査報告書

外部評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| ・理念に基づく運営 | 11 |
| 1. 理念の共有 | 2 |
| 2. 地域との支えあい | 1 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 3 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 3 |
| 5. 人材の育成と支援 | 2 |
| ・安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 2 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 1 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 1 |
| ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 6 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 1 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 2 |
| ・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 11 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 9 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 2 |
| 合計 | 30 |

| | |
|---------|-----------------------|
| 訪問調査日 | 2007年12月21日 |
| 調査実施の時間 | 開始 10時00分 ~ 終了 16時00分 |

| | |
|-------------------|--------------------|
| 訪問先事業所名 (都道府県) | グループホームそよかぜ 大阪府 |
|-------------------|--------------------|

| | |
|----------|---|
| 評価調査員の氏名 | 氏名 南 ヤエ 氏名 三宅 須美子 |
| 事業所側対応者 | 職名 管理者・計画作成担当者 氏名 児玉アサ子・岡本 倫代 ヒアリングを行った職員数 (2)人 |

記入方法

「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。

「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に をつけてください。

項目番号について

外部評価項目は30項目です。

「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。

「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

【評価実施概要】

| | |
|-------|------------------------------------|
| 事業所番号 | 2775004993 |
| 法人名 | 有限会社メディワールド |
| 事業所名 | グループホームそよかぜ |
| 所在地 | 東大阪市大蓮北一丁目9番26号 電話 06-6736-2070 |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人エイジコンサーン・ジャパン |
| 所在地 | 大阪市住之江区南港北2-1-10ATCビル1TM棟9階 |
| 訪問調査日 | 2007年12月21日 |

【情報提供票より】（平成19年12月7日事業所記入）

（1）組織概要

| | |
|-------|-------------------------------|
| 開設年月日 | 平成 17年 7月 1日 |
| ユニット数 | 2 ユニット 利用定員数計 18 人 |
| 職員数 | 11 人 常勤 6人, 非常勤 5 人, 常勤換算 6 人 |

（2）建物概要

| | |
|------|----------------|
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート 造り |
| | 3 階建ての 2・3 階部分 |

（3）利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|-------------------|----------------|----------|---------|
| 家賃(平均月額) | 60,000 円 | その他の経費(月額) | 52,000 円 | |
| 敷 金 | 有(円) | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(250,000 円) 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 200 円 | 昼食 | 400 円 |
| | 夕食 | 500 円 | おやつ | 100 円 |
| | または1日当たり | | | 1,200 円 |

（4）利用者の概要(12月7日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 17 名 | 男性 | 4 名 | 女性 | 13 名 |
| 要介護1 | 3 | 要介護2 | | 5 | |
| 要介護3 | 1 | 要介護4 | | 4 | |
| 要介護5 | 4 | 要支援2 | | 0 | |
| 年齢 | 平均 79.2 | 最低 | 56 歳 | 最高 | 95 歳 |

（5）協力医療機関

| | |
|---------|--------------------------|
| 協力医療機関名 | 内科：医療法人 倫友会、 歯科：医療法人 薫歯会 |
|---------|--------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近鉄弥刀駅下車、古くからある町を通り抜けたところにグループホームそよかぜがある。ホームの前にベンチがあり利用者だけでなく近所の人も日向ぼっこ・休息・地域の交流も出来る。1階にデイサービスがあり、経営母体は内科医院で、系列に整骨院・鍼灸院がある。そのことにより多機能を生かしたケアが出来る。管理者は情熱をもって高齢者グループホームの運営に携わり又若い職員に対しても働き方に対して厳しい姿勢を求めている。リビングは広く椅子は畳敷きの長台で高齢者はいす生活ではあるが畳の良さも味わえる。

【重点項目への取組状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目：外部4) 職員の研修を受ける体制づくりを指摘された。若手職員を2人研修に参加させるも、他の職に就きたいと相次いで退職。なかなか順調に進んでいない。研修に費用半額負担制度を取り入れるなど改善されている。職員の定期的な会議、運営方針のホーム内の掲示も努力の跡が見られる。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目：外部4) |
| | 自己評価表は主として2階計画作成担当者である岡本倫代氏が3階計画作成担当者兼岡本医院医師岡本雅之氏・管理者・職員の意見を聞いて作成した。職員の意見の反映に努めた。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目：外部4,5,6) 運営推進会議は2ヶ月に一度開いている。外部評価の内容や地域交流事業について話し合っている。具体的に会議の内容が運営にいかされることは少ない。参加者の意見を聞いて反映させていけるので意義は感じている。 |
| | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目：外部7,8) 家族が面会に来られたときに入居者の生活を伝えている。又毎月の費用の請求時にそれぞれの利用者家族にホーム内での様子を個別に伝えている。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目：外部3) 地域に溶け込むように自治会に入会し敬老会などに参加しているがまだ交流は深まっていない。避難訓練時に市・自治会から施設は施設でといわれている。 |

2. 調査報告書

調査員氏名 南 ヤエ

同行調査員氏名 三宅 須美子

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|---------------------|---|
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | そよかぜの理念 1. 人間中心のケアを心がけます 2. 利用者の思いを知る努力をします 3. 利用者の残存能力を守ります 4. 援助では、バイスティックの7原則に従います。 | | 理念は掲げられているというより張ってあるという状態である。理念は利用者・来訪者には施設の姿勢を示し、職員には仕事に対しては意欲を啓発するものである。分かりやすく、簡潔な言葉で見易いところに掲示されたい。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 会議や研修などを通じて事業の目的や運営の方針が記載された書面を配布し、職員に周知徹底を図っている。 | | 前回の評価を受けて職員とコミュニケーションをとり、情報の共有を図ることに改善がある。 |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会に入会し、敬老会、選挙などに出席し、地元の人々と交流することに努めている。 | | 自治会・敬老会に参加することだけでなく、ホームの玄関前にベンチを置いて地域の人にもベンチに座り利用者との交流が出来るように努めている。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 昨年の自己評価及び外部評価を活かして職員ミーティング、研修の充実を行い、介護サービス計画のモニタリングを毎月に行い利用者家族及び福祉事業所へ報告している。 | | 外部評価に指摘されることをマイナスと捉えず前向きに捉え施設運営・介護の質の向上に活かしてほしい。外部評価を機に運営者・管理者・職員の意思の疎通をはかることにつなげていることが窺える。 |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|--|---|---------------------|---|
| 5 | 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>運営推進会議では利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、地域交流事業やホーム内クラブ制度などの取り組みにも活かしている。</p> | | <p>運営推進会議も順調に開いている。回を重ねるごとに会議の中身が充実してきつつあるように見受けられた。</p> |
| 6 | 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>市町村担当者主催の地域別ケア会議にも必ず参加し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> | | <p>市主催の会議には主に管理者が出席し意見はしっかり言ってきている。職員にも時には会議に出席させることで責任感も強くなることなど、職員にも出席の機会を与えることを期待する。</p> |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>毎月末に加えて適宜、事業所及び重度認知症デイケア、内科、歯科、眼科、婦人科、整形外科より説明も合わせて、個々に報告している。</p> | | <p>毎月末、個別に利用者の状況を家族に伝えていることは大変評価できる。</p> |
| 8 | 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>家族会を設けると共に、面会の折には管理者や職員ならびに担当医師等と面談する時間を取って、意見等を聞き、運営に反映させている。</p> | | <p>家族会のお知らせを作り参加できなかった家族には送付している。</p> |
| 9 | 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>利用者が馴染みの支援者による支援を受けられる様に、異動や離職を必要最小限に抑える努力のみならず、利用者の同時移動も可能としダメージを防ぐ配慮をしている。</p> | | <p>将来幹部にと思って研修に参加してもらった職員が相次いで退職をして計画が思うようには進んでいない。有給休暇を取る職員が増え始めたとのことである。労働条件の改善が定着率を高めることに結びつくと期待できる。</p> |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|---------------------|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>有資格者には法人外研修を、全職員に法人内研修を、又働きながらトレーニングし、更上の資格を取得出来る様に進め勤務調整を行っている。資格取得の為に資金援助を受けられる制度を設けている。</p> | | <p>資格取得やレベルアップ研修には勤務時間調整資金援助など支援をしている。市町村の研修は時間的に余裕のない場合が多くあまり参加できていない。管理者は若い職員に仕事に対する姿勢などを折に触れ指導育成のつもりで助言している。今後に期待する。</p> |
| 11 | 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>管理者や職員が地域ケア会議や介護福祉研修に出席し、同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作り、相互訪問、勉強会等の活動を通じ質の向上に努める。</p> | | <p>全国グループホーム協会に加入して情報を得て施設運営に生かしている。地域の同業者との交流は進んでいない。職員が同業他社職員との交流を図ることで、視野を広げさらに良い介護につながり、自分の職場の良さを再認識し勤労意欲も更に増進する。</p> |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用する為に、必ず見学に来て場の雰囲気を感じていただき、家族等と相談しながらサービス利用を開始していただく。</p> | | <p>入居に当たっては家族の見学、利用者本人も時には見学をする場合もあり入居時の混乱は起こっていない。</p> |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>利用者は介護される一方ではなくユニットを構成する大切な一員として一緒に過ごし喜怒哀楽を共にし、他の利用者・職員に思い思われる関係となっている。</p> | | <p>介護度の軽い利用者が介護度の重い利用者の車椅子を押して玄関に日向ぼっこに付いて行っているなど、利用者同士の思いやりある場面に遭遇した。</p> |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|--|---|---------------------|--|
| <p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p> | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>一人ひとりの思い暮らし方の希望、意向の把握に努めている、支援している。困難な場合は本人本位に検討している。</p> | | <p>毛糸編みの得意な利用者がマフラーなどをセッセと編んでいる傍ら、自ら意欲を出すことが困難な利用者に対して「如何に意欲を引き出すか」との視点での支援をさらに続けられたい。</p> |
| <p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p> | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について担当者会議を開き会議が持たない場合には各担当者に意見照会を行い、それを反映した計画作成をしている。</p> | | <p>共同生活をするという本来の目的を達するのが困難な利用者もいる。持てる能力を如何に引き出すかということが今後の課題である。</p> |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画作成している</p> | <p>介護計画期間を最長3ヶ月としているが見直す以前に新たな計画再編を必要とする変化が生じた場合は会議や照会を行い、現状に即した計画作成をしている。</p> | | <p>介護計画は各ユニットで個別に介護計画作成者がスタッフの日常の記録・入居者の生活状況・管理者の話を総合的に判断して作成している。</p> |
| <p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p> | | | | | |
| 17 | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | <p>利用者の状況やその活動性、社会性に応じて併設施設通所介護を訪問し、又は設備を利用してのイベントなどの支援を行っている。</p> | | <p>提携医療機関であり経営母体の医院に毎日利用者の健康チェックをFAXで送り健康状態を見落とすことの無いようにしている。</p> |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|---------------------|--|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用者及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、医療制度に則って適切な医療を受けられるよう支援している。 | | 利用者の希望によりかかりつけ医に通院する支援はしている。 |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した場合や終末期のあり方についてはかかりつけ医・本人・家族の意向や希望を相談し、適切な医療が受けられる様全員で方針を共有している。 | | 入居時から認知度の重い利用者もいることから、終末については話し合っている。話し合ったことを文章として残して利用者・家族と情報の共有をされたい。 |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 一人ひとりの利用者とその家族に対し自尊心やプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いはしていない。 | | 個人情報の秘密保持については契約書にも明記し職員にも徹底している。 |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にしたいか、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 職員側の決りや都合を優先するのではなく、利用者一人ひとりのペースを大切にしたいか希望に添えるよう適切な支援をしている。 | | 編み物を楽しんだり、楽器の練習を自室で行うなど、各自好きな事を自由時間の中で楽しんでおり、余暇の過ごし方もそれぞれのペースで楽しんでいるのが窺える。 |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|---|---------------------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事が楽しみになるように、行事食や一人ひとりの好みや力(皮むきができる人が居る)を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や片付けをしている。 | | 献立は利用者の要望を聞き管理者児玉あさ子氏(栄養士)・職員で考えて立てている。食事づくりに参加できることが毎日の仕事になるよう、作る楽しみが食べる楽しみにつながるよう支援を続けてほしい。 |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 機械浴では職員2人組で介助に当たる為動きやすく気温の高い午後早くに限られてしまうが、介助、見守り浴では希望・タイミングに合わせて支援している。1週間に3回以上、希望があれば毎日でも入浴を楽しんでいただける様、介助用具を注文中。 | | 機械浴は1階にあるサービスに出かける。介助用具を注文中との事で、入浴が楽しみの時間になると期待できる。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 張り合いや喜びのある日々を過ごせる様に一人ひとりの生活歴や残存能力を活かし洗濯物のしわのばし、畳む、食卓をふく、下膳など共同の場で力を発揮していただき、お礼を言う日々である。 | | 毎日の生活の中に自分の役割を持つことで生活の意欲が湧く。このことから利用者の役割分担を広げることを進められたい。 |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 事業所の中だけで過ごさず1日1~2回は外気浴に出る様にしている。一人ひとりの希望能力に応じて散歩へ出かける事も支援する。 | | 近所の公園には歩いて、買い物は少し遠いのでマイクロバスで出かけている。外気浴は玄関のベンチに毎日出るなど部屋やリビングだけで過ごすことがないように配慮している。 |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 運営者及び全ての職員が居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。 | | 居室に鍵はかかっている、各ユニットの玄関にもかかっている。職員は常に利用者の行動に気を配り、事故が起きない様見守りを続けられたい。 |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|--|--|---------------------|---|
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 避難訓練を行い、利用者が安全に避難出来る様に取り組み、地域の人々にも働きかけている。(市、自治会としては施設は施設でという方針を発表している。) | | 市・自治会の対応は冷たさを感じる。施設としては避難訓練はやっている。避難時に利用者を連れて出る役割分担も決めて電話のところに張ってある。非常事態が起こったときは迅速な救助要請は当然すべきである。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、又、治療食として機能出来るよう、献立、調理、盛り付け支援を行っている。 | | 管理者は朝食用のパンにシルクを入れて自ら焼いてきている。朝食の副食にも変化をつけている。又「昼食に重点を置いて夕食は軽くと高齢者の健康に配慮してた献立にしている」と話している。食事・水分摂取量は記録し把握している。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用の空間は利用者にとって不快な音や光がない様配慮し、居間には落ち着ける様和風に畳み、障子越しの灯りを用いている。又手作りの季節感の出る飾り付けなどを工夫している。 | | リビングはテーブルの周りを畳敷きの長い台が椅子の代わりとなっていて、椅子式ではあるが畳の風合いも味わえている。ベランダに面して座ると太陽もよく入り展望も有り開放的で明るい。 |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居間は木を多く使用してエアコンディショナーを目隠ししてあり、本人や家族の好み、使い慣れた物を活かし、居心地よく過ごせるものとなっている。 | | 使い慣れたものの持込が少ない利用者も見受けられた。使用者自身が望まないとのことであるが家族と相談してもう少し潤いある居室となることが望ましい。 |

は、重点項目。